

# 日本共産党

磯城郡議員団だより

芝和也 Eメール info@k-shiba.jp  
 川西町結崎 862-7 0745-43-2415  
 吉田容工 Eメール katunori\_yosida@ybb.ne.jp  
 田原本町大木 113-5 090-5257-4446  
 森良子 Eメール qfndg008@ybb.ne.jp  
 田原本町鍵 281-1 0744-33-8570  
 (事務局) 池田年夫 Eメール uvkk87386@zeus.eonet.ne.jp  
 三宅町屏風 440-5 0745-43-2661

## 事務部局に業界から20人

原子力委  
推進派関与  
10年以上  
吉井議員調査

国の原子力委員会の事務を担う内閣府の部局に、電力会社や原発メーカーなど原子力業界から過去5年間で約20人が採用されていたことが、日本共産党の吉井英勝衆院議員の調査で26日までにわかりました。また、業界からの採用が遅くとも2001年には始まっていたことも明らかになりました。

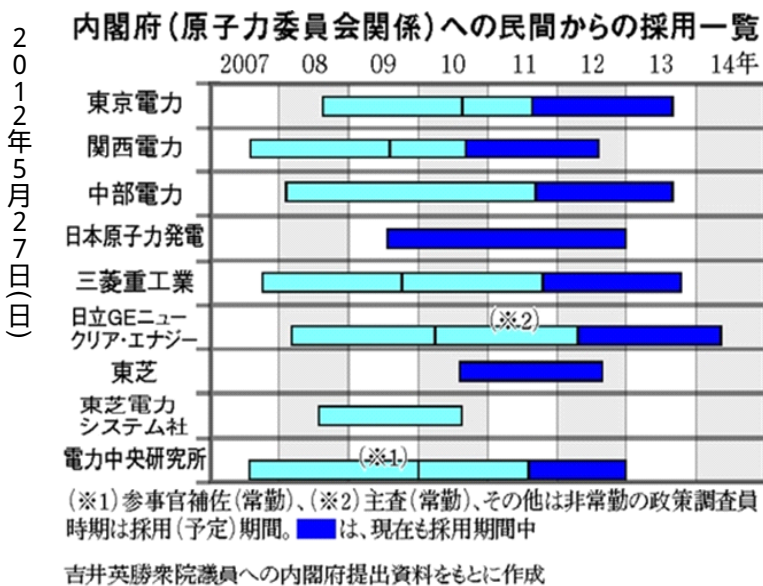
吉井議員への内閣府提出資料によると、07年4月1日〜12年5月1日の期間に民間企業・団体から内閣府の政策統括官（原子力委関係）に採用されたのは20人。出身は、東京電力、関西電力など電力会社4社、三菱重工、日立GEニュークリア・エナジーなど原発メーカー4社、電力各社の寄付で設立された電力中央研究所。18人は非常勤の政策調査員として採用。2人は常勤で、参事官補佐主査として採用されています。現在も非常勤8人が採用期間中です（表）。

このほか、00年度以降に電力

会社などに在職したまま原子力委の調査担当者（非常勤）として採用された例は、東電が2人、日本原電が4人、電力中研が2人。最も早い時期の採用は、日本原電からの01年1月でした。

吉井議員は、昨年5月の国会質問で、原子力安全委員会事務局などの政府の原子力関連部門に、東電をはじめ電力各社に在籍したまま採用された職員が多数いる問題を指摘し、「官民癒着だ」と批判していました。吉井議員は「原子力の安全規制に関わる安全委員会と原子力を推進する立場の原子力委員会の両方に、原発利益共同体の一員である電力会社や原発メーカーが人を送り込み“霞が関出張所”として、自分たちのコントロールのもとで原発を推進している実態を示すもので、大問題だ」と話しています。

原子力委をめぐっては、原発推進派だけを集めた「勉強会」と称する秘密会議で報告書原案を配布した問題が発覚したばかり。原子力行政のゆがみが改めて浮き彫りになりました。



電気代、家庭が大口の2倍超  
東電もつけの9割占める

東京電力の家庭向け電気料金が、大口の電気料金の2倍以上となっており、大口が分かりました。経済産業省の電気料金審査専門委員会の第2回会合に提出され

## 日本共産党大演説会

日時 6月16日(土)  
午後7時開会  
ところ なら100年会館  
志位和夫日本共産党委員長

弁士  
衆院選 2区 中野あけみ  
3区 豆田よしのり  
4区 山崎たよ

た資料で明らかになりました。同委員会は東電が申請した家庭向け電気料金の値上げについて審査しています。

資料によると、1キロワット時当たりの単価は、家庭向けなどの規制部門が平均23・34円であるのに対し、電気使用量が多い企業の上位10社は平均11・8円となっており、2倍以上の差があります。

大口には電気を安く売り、その分家庭に高く売ることによってもうけをあげてきた東電の経営実態が鮮明になりました。2006〜10年の5年間の合計で、東電の電気事業収益の9割が家庭向けなどの規制部門の電気料金から生み出されています。

日本共産党の吉井英勝衆院議員が入手した資料により、東電の年度ごとの電気事業収益の詳細が明らかになりました。06年度の事業収益は、規制部門は1227億円で自由化部門は1308億円でした。しかし、新潟県中越沖地震のために柏崎刈羽原子力発電所が停止した影響から、安売りしていた自由化部門では、07年度は684億円、08年度は735億円の赤字を出しました。その後、08年の電気料金改定を経て、09年度の事業収益は、規制部門で970億円、自由化部門で68億円となりました。10年度は、規制部門2317億円に対し、自由化部門は562億円と、規制部門で利益を生み出す構造物が顕著になっています。

日本共産党発行  
赤旗  
日刊 3,400円  
日曜版 800円

## 「再審請求否決」

名張毒ぶどう酒事件の再審請求に対して名古屋高裁の山下裁判長は「再審請求否決」の判断を下しました。

この報告を特別面会人のHさんが名古屋刑務所に面会に行くと、刑務所側は「午前中に弁護士（弁護士）が来たから今日は面会できません」と言って面会を拒絶しました。弁護士は名古屋高裁の裁判所の決定を本人に伝えに行つただけなのに、普通の弁護士の面会と比べ特別面会人の面会を拒絶するという被告の奥西勝さんを支援する人々をも拒絶する態度ではないでしょうか。

A新聞も27日の社説で「裁判所の判断がこうも揺れ動くのは尋常ではない。一審では無罪。二

審では逆転有罪の死刑判決。最高裁で確定した経緯をもつ。『疑わしきは被告人の利益に』という刑事裁判の鉄則を」と述べています。

今回の決定では裁判長が、検察官や弁護士の間で論点にもなかつたことを主張し、「再審請求否決」の判断を下したことに對し異論も出されています。

名古屋高裁の「再審請求否決」の決定の後、開かれた「なくそう冤罪救おう無実の人々」関西市民集会在26日大阪市内で開かれ、340人が参加。西日本で冤罪事件を戦っている人たちが集結し、一刻も早い無実を勝ち取ることを誓い合いました。

三宅町  
池田年夫



## 大飯原発再稼働、やめて！

先日、パソコンで「ぼんぷぐにゃんラジオ」という放送を初めて聞きました。凄く素人っぽい方が「おおい町」の町議会議員の猿橋巧さん（日本共産党）に電話でインタビューされていました。人口8800人のおおい町は大飯原発再稼働問題で揺れ動いています。議会は再稼働の賛否をとつたとところ十一対一で賛成。日本共産党の議員だけが反対。この猿橋議員は次のように言います。

「地元の人には不安をもっている。原子力エネルギーをコントロール出来ない人類は扱うべきではないと思つている。原子力村を抑え、0にシフトしな

ければならない。福島みたいにならないように。穏やかな口調ではあるが、固い意志が伝わってきました。インタビューした方は「全員一致で賛成されたら困る。異議を唱える人は居てくれないと。一人でも頑張ってくれた」と

と何回も感謝の気持ちを伝えておられました。福島原発事故の原因究明も、除染も進まず、故郷に戻れない人々がいる中、事故が起こると近畿も同じ状況になるかと思つとゾーとします。大飯原発3、4号機の再稼働は絶対やめてほしいものです。

田原本町議  
森 良子  
議員



## 天体ショー第二弾

先週の月曜日は金環食の話がしきりでしたが、川西町ではバッチシ観察できましたね。当日は、おそろく曇つていると心配していたんですが、目が覚めると旭が差し込んでましたんで、難なくさつと起きれました。皆さんはそんな事有りませんでしたか？

さて、今週末からは六月ですが、既に大方の皆さんがご存知のように、次の六月も天体ショーが続くんですね。そう、金星の太陽面通過です。金環食の時、だんだん欠けて行く様子を観ていて感じたんですが、テレビの映像等では、結構、大きく映し出されていますんで、ベイリービーズもはつきりと確認出来ま

したが、日食グラス越しに直に観てる分には、そう、はつきりとは分かりませんが、今度の太陽の前を通過すると言つた金星は、黒い小さな点のような存在のようですので、日食グラスを通して普通に観るだけでは、「あの点がそうやな」程度にしか分からないかも知れませんね。

八〇〇年後の次の金環食程待つ事は有りませんが、この現象も次回は一〇五年後ですので、当日の六月六日が晴れてくれる事を、今度も祈るしか有りませんね。

川西町議会議員  
芝 和也



## 鬼平犯科帳と田原

鬼平犯科帳の主人公長谷川平蔵は、一七四六年生まれの実存された方で、火付盗賊改めの御頭を八年も務め、人足寄場をつくり労働による刑罰制度をつくり上げた功績が評価されているそうです。

「本所・桜屋敷」の話の中で、「長谷川家の祖先は、昔々大和国・長谷川に住し、戦国末期のころから徳川家康につかえ」と記されています。

戦国時代の田原本町には、丹波山城、森屋城、

秦楽寺城、金剛寺城などがあり、在地武士集団「長谷川党」と「長川党」の二集団に分かれていたようです。その「長谷川

党」の主要部隊が丹波山城を居城とした法貴寺党で、その城主が「下河辺（しもごつべ）氏」です。この下河辺氏が後に「長谷川」に改名されたそうです。徳川幕府成つて旗本になり七代目が長谷川平蔵だそうです。丹波山城がどこにあったのか？ 鍵池の東側に「丹波山」という字名がありその一帯が「長谷河丹波」という資料が残っているそうです。

詳しくは産業観光課にお問合せください。

お詫び 前々回の「ごみの減量対策は？」中、計数の単位が間違っていました。正しくは、「一人当たり370kg（家庭系ごみ251kg、事業系ごみ119kg）一人1日あたり10・二三gでした。訂正します。

田原本町議会議員  
吉田 容工

